

# いろいろと

## ーてまりでつながろうー

代表者 松下真子（人文B 2年）  
構成員 森野美由紀（人文B 2年）

### 1. はじめに

本プロジェクトは、加賀手鞠を見たり、作ったりすることを通じて日本伝統の文化について理解を深めること、また「手芸」というツールを用いることにより、コミュニティの形成を図り、交友関係を深めるとともに、趣味としての新たな挑戦を促すことを目的としている。

現在、定期的な活動として週1回のワークショップを行っている。

### 2. ワークショップ

本プロジェクトの定期的な活動として、週に1度、自主活動ルームにて手毬制作のワークショップを行っている。（前期：火曜日 13：00～15：00、後期：14：30～16：30）

主な内容として、手毬作品の展示、制作の見学・体験を行っている。手鞠の制作体験では、参加者にあらかじめ用意した土台となる鞠の中から好きなものを選んでもらい、そして模様をかけるための絹糸を4～5色選び、組み合わせて、実際に手毬の模様を作っていく。制作過程の中で、同じ「二ツ菊」という模様を作っているが、作る人それぞれがどのようなイメージのものを作るかによって、それぞれ全く違った色の組み合わせのものが出来上がることにとても感心した。



ワークショップの様子

### 3. サマープログラムでのイベント開催について

7月25日、8月1日。自主活動ルームにて短期留学生に向けてイベントを開催した。中国、台湾から24人の留学生が参加し、日本文化として手毬を中心に紹介を行った。

内容としては、留学生の前での手毬制作の実演、手毬を飾り立てるときに用いられる絹糸を利用して、日本独自の色の呼び方についてクイズ形式で行った。イベントの中で、実際に模様をかける工程を間近で見たり、完成した作品を触ったり、写真に収めたりすることによって、普段見ることがない手毬について知るきっかけとなり、また、糸の色当てクイズをする中で、色の名前による文化の違いについて理解を深めることができたと思う。



サマープログラムでの手毬製作の実演

#### 4. オープンキャンパスへの参加

8月5日、自主活動ルームにて山口大学オープンキャンパスに参加した。

オープンキャンパスでは、6月からの活動の様子をポスターの形式で写真を交えたものを展示し、またメンバーは当日スタッフとして参加した。

当日は、会場に訪れた高校生や保護者の方々に大学生生活の様子や、受験について、さらにおもしろプロジェクトについての概要や、実際の活動の様子などを説明した。



オープンキャンパスでの様子

#### 5. 今現在の問題点と今後の展望

今現在、週に1度のワークショップを行っているが、参加者の人数は毎回1~3人程度であり、あまり活動を認知されていないことが最大の課題となっている。解決策として、積極的な広報活動を考えている。

また今後に展開として、2月の初めには針供養の参加を計画している。そして新たな試みとして、今まで直径3cmほどの比較的小さな手毬を製作してきたが、手のひらサイズの比較的大きな手毬の制作を試みることを計画している。